



JPI催しのご案内

2019
6

公益社団法人日本包装技術協会

— 研究会の参加申し込み方法について —

JPIホームページより参加申し込みができます。
ホームページからのお申し込みを宜しくお願い致します。

●開催要領

会場 公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
日時 2019年6月27日(木) [第1部] 10:30~12:00 [第2部] 13:15~15:00 [第3部] 15:15~17:00
参加費 JPI法人・個人会員：無料／一般：3,240円(1部会、税込)

第1部 第226回包装ラインシステム化研究会

10:30~12:00

【テーマ】人と一緒に働くヒト型ロボットNEXTAGE

カワダロボティクスが、日本のものづくり企業における労働力不足の解決策として「人と一緒に働くヒト型ロボット」をテーマに開発したNEXTAGEを市場に提案してから10年を経た。本講演では、国内の様々な現場で活用されているNEXTAGEの概要と適用事例について紹介する。

【講師】カワダロボティクス株式会社 管理部広報室 広報室長 藤井洋之氏
 【コーディネーター】(株)川島製作所 生産統括第1グループ 技術第2ユニット 次長 加藤利雄氏
 アンリツインフィビス(株) マーケティング部 商品企画課 課長 若野弘起氏

第2部 第228回生活者包装研究会

13:15~15:00

【テーマ】(2030年包装の未来予測シリーズより)循環型社会の視点からみた包装の未来

日本包装専士会では、望ましい未来に向けた容器包装の役割を研究し、2030年のありたい姿について解析してきました。TOKYO PACK 2018のトレンドセミナーでの発表以後も、様々な方々と意見を交換しながら研究を続けています。プラスチックごみの海洋投棄が問題となり、世界中でプラスチック製容器包装などの使用規制も始まりました。日本でもプラスチック資源循環戦略の策定が進められています。本来、プラスチックに限らずどの素材も流出させないことが大事です。使い終えた容器包装を、徹底的に利用する資源循環の仕組みを構築することは可能でしょうか。包装近未来のメガトレンドとなっている情報の先読み・先取りをし、常に未来志向で、すでにある未来を見つけにいく。このような姿勢が今のわたしたちに求められるスタンスです。皆さまと共に、容器包装の未来を考えましょう。

【講師】大和製罐株式会社 技術開発センター 軟包装容器開発室 包装専士 橋本香奈氏
 【コーディネーター】DIC(株) PM技術1G GM 包装専士 松原弘明氏
 ライオン(株) 生産技術研究本部 容器・包装技術研究所 副主任研究員 包装管理士 山本康人氏

第3部 第106回包装情報研究会

15:15~17:00

【テーマ】体験価値のためのデータドリブンマーケティング

企業のマーケティング環境が大きく変わっています。今やマーケティングはデータとテクノロジーという「道具を使って面白いゲーム」に変わっています。自社だけが道具をうまく使えていないとしたら、そのゲームに勝ち目はあるでしょうか？

とは言え・・・
 ①現在のデジタルマーケティングはまだ未成熟で、いろいろな矛盾を抱えている。
 ②企業側もデジタルマーケティングで成果を出すために、いくつかの共通課題が存在する。
 ③消費財メーカーにとってのデジタルマーケティングの特殊性。
 この3つの視点で、顧客体験価値を提供するという目的の為にデータとどう向き合うか？についてDNPの取組みや事例を合わせてご説明いたします。

【講師】大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部 C&Iセンターデジタルマーケティング本部 本部長 天本直也氏
 【コーディネーター】アサヒビール(株) パッケージング技術研究所 所長 佐藤辰彦氏
 (株)スマイル 生活用品・資材事業本部 包材3部 部長 柳敏彦氏

本研究会は包装や物流に関する専門知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

研究会の参加申し込み方法について

2019年度より、当会研究会のお申し込みを、ホームページからのみの受付とさせていただきます。
 お手数でございますが、当会ホームページをご覧の上、研究会お申し込みページより、
 参加登録を頂きたくお願い申し上げます。

URL : <http://www.jpi.or.jp/index.html>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
 ●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>

6月度見学会は現在検討中です。決定次第ホームページにUPします。

第57回 全日本包装技術研究大会(仙台大会)

— 発表者募集のご案内 —

(公社)日本包装技術協会では毎年1回、全国の会員を対象に包装技術の研鑽と交流を目的とした全日本包装技術研究大会を開催し関係各位より高い評価を頂いております。本大会は本年で57回目を迎え、会場を仙台国際センターに移し、盛大に開催する予定です。貴社におかれましてもこの機会を有効にご利用頂きたく、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

発表者募集要領

開催日：2019年11月21日(木)～22日(金)
発表内容：1件あたり25分間(20分発表、5分質疑)
募集件数：50件 *定員になり次第締め切ります
申込期間：2019年8月23日(金)まで
発表料金：無料 *記念品を贈呈します
優秀選定：発表者の中から、特に充実した発表をされた方を対象に優秀発表者を選定します

発表内容

包装又は包装資材に関する研究/新技術・新システム・新素材の開発/廃棄・リサイクルの容易性/包装の現場における改善・合理化の事例/省力・省資源・コスト低減の事例など

発表部会

①包装資材部会 ②包装ラインシステム化部会 ③食品包装部会 ④生活者包装部会
⑤医薬品・医療機器包装部会 ⑥化粧品包装部会 ⑦輸送包装部会 ⑧電気機器包装部会
⑨環境包装部会 ⑩パッケージデザイン部会

◆お申込み及びお問い合わせ先◆ (公社)日本包装技術協会 全日本包装技術研究大会 担当：小橋 TEL:03-3543-1189 e-mail:kobashi@jpi.or.jp

2019

日本パッケージング コンテスト

出品受付 2019年3月～5月28日まで

◆お申込み及びお問い合わせ先◆

(公社)日本包装技術協会
日本パッケージングコンテスト係 担当：竹内
TEL:03-3543-1189 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

JAPAN STAR賞

経済産業大臣賞
経済産業省産業技術環境局長賞
経済産業省製造産業局長賞
日本商工会議所会頭賞
日本貿易振興機構(ジェトロ)理事長賞
公益財団法人日本生産性本部会長賞
公益社団法人日本パッケージデザイン協会賞
公益社団法人日本マーケティング協会会長賞
公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会賞
公益財団法人共用品推進機構理事長賞
公益社団法人日本包装技術協会会長賞
消費者団体推薦賞

包装技術賞

テクニカル包装賞
適正包装賞
アクセシブルデザイン包装賞
包装アイデア賞
パッケージデザイン賞
ロジスティクス賞

包装部門賞

食品包装部門賞/飲料包装部門賞/菓子包装部門賞/
化粧品包装部門賞/贈答品包装部門賞/トイレタリー
包装部門賞/日用品・雑貨包装部門賞/POP・店頭販
売包装部門賞/電気・機器包装部門賞/大型・重量物包
装部門賞/医薬品・医療用具包装部門賞/
輸送包装部門賞/工業包装部門賞

暮らしの包装商品展2019 KITTE(東京駅)にて開催!!

会期	2019年10月10日(木)・11日(金)
開場時間	11:00～18:00
会場	KITTE 1Fアトリウム・地下1Fパフォーマンスゾーン
コンセプト	知ってなっとく!包装容器の新事実! ～身近な製品からみる包装の知られざる機能やひみつを紹介します～
入場	一般公開 入場無料
併催企画	2019グッドパッケージング展、第43回木下賞受賞作品展、クイズラリー 他
後援	経済産業省(予定)
主催	公益社団法人日本包装技術協会

本展の特長 『企業と消費者双方向のコミュニケーション』

暮らしに欠かせない「包装」ですが、その重要性を消費者へ伝える場はあまり多くありません。本展は消費者が集う商業施設で開催するため、普段接点の少ない消費者へ、企業の包装への取り組みを直接伝えることができます。また消費者からは、包装商品を実際に体験(使用)いただくことで、消費者からの意見などを知ることができ、企業と消費者双方向のコミュニケーションが実現します。

本展公式ホームページ：<http://www.jpi-expo.jp/>

【個人情報の取扱いについて】

1. 個人情報は「(公社)日本包装技術協会 月例研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り、配布する場合があります。
2. 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。